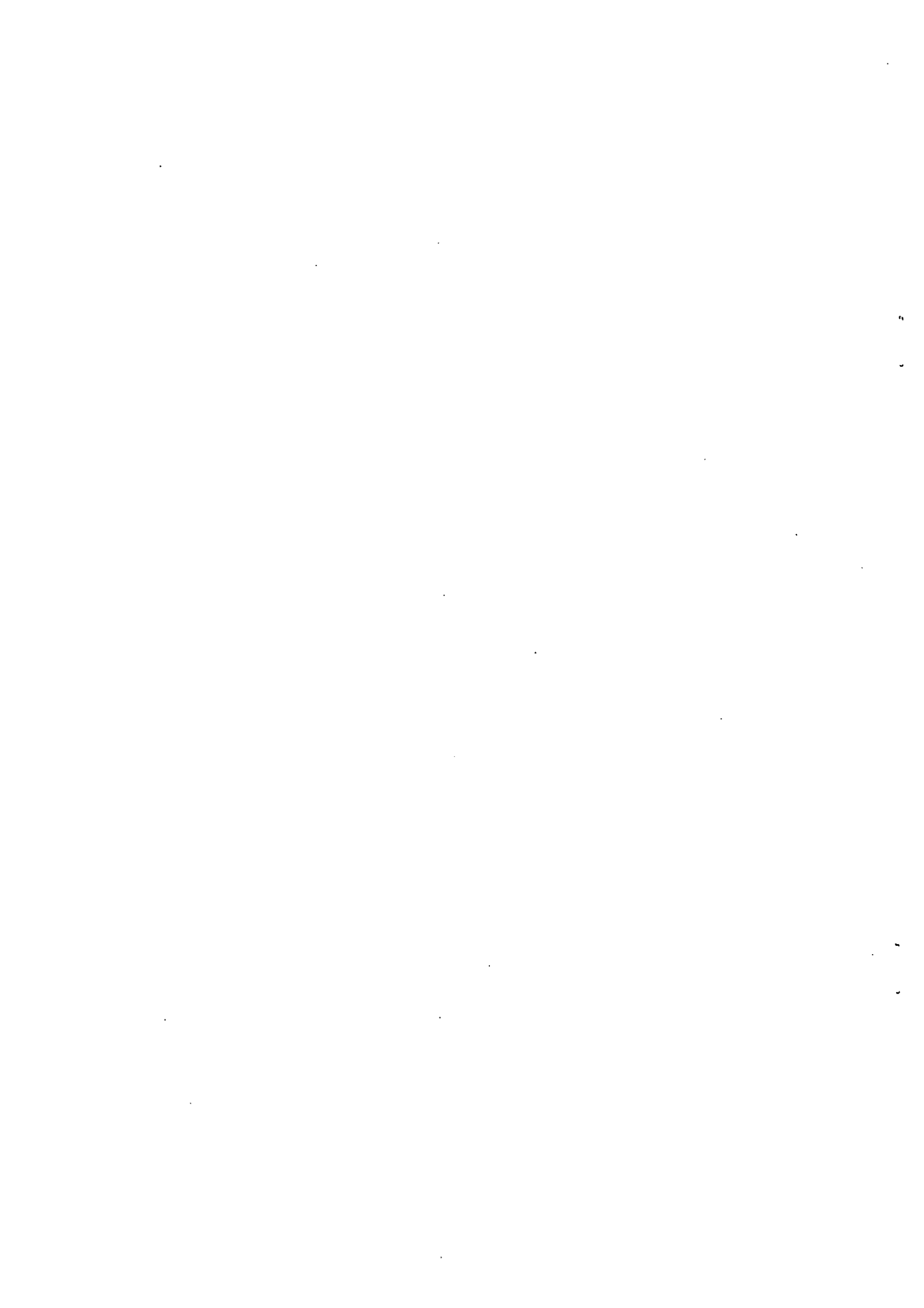


地域振興県土警察常任委員会資料

(平成 29 年 7 月 21 日)

- 1 平成 28 年観光客入込動態調査結果（県調査）を受けた観光誘客等について
【観光戦略課】・・・1 ページ
- 2 日本ジオパーク再認定に係る現地審査について
【観光戦略課】・・・5 ページ
- 3 キティラ・ハイキング・プロジェクト（ギリシャ）訪問による成果について
【観光戦略課】・・・7 ページ
- 4 鳥取空港開港 50 周年記念式典について
【観光戦略課】・・・9 ページ
- 5 新規市場（フィリピン、ベトナム）における誘客の取組状況について
【観光戦略課】・・・10 ページ
- 6 2017 年東アジア地方政府観光フォーラム（E A T O F）常任委員会の開催について
【観光戦略課】・・・12 ページ
- 7 全米知事会の参加及び米国バーモント州フィル・スコット知事との交流協議について
【交流推進課】・・・13 ページ
- 8 伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーイベント等について
【西部総合事務所地域振興局】・・・15 ページ
- 9 特定非営利活動法人大山中海観光推進機構（「大山王国」）の検査（追加）結果について
【西部総合事務所地域振興局】・・・17 ページ

観光交流局



平成28年観光客入込動態調査結果（県調査）を受けた観光誘客等について

平成29年7月21日
観光戦略課

平成28年観光客入込動態調査結果等についてとりまとめた結果及びこの結果を踏まえた観光誘客の取組について、以下のとおり報告します。

1 調査概要

(国内)

- ・鳥取県中部地震の影響が大きく、全体の入込実人数は減少したが、道の駅「きなんせ岩美」や「大江の郷ヴィレッジ」の開業などにより入込が増えているエリアも見られる。
浦富海岸、岩井温泉周辺（対前年+133千人（+40.9%））、八頭（対前年+69千人（+23.7%））
- ・こうした新たな観光スポットのオープンや既存施設の魅力向上により、県内観光地間の周遊性が高まり、1人の観光客が1回の観光で訪れる県内観光地が増えた結果、入込延べ人数は増加した。
- ・貸切バス、自家用車による入込が減少しており、鳥取県中部地震の影響のほか、特に貸切バスについては、料金改正により遠距離のバス料金が高騰したことがツアー造成に影響を及ぼしたことが考えられる。

(海外)

鳥取県中部地震の影響は限定的であり、宿泊者数の大きな減少には至らなかった。

- ・外国人宿泊者数（延べ人数）：100,320人（対前年▲3,000人、▲3%）[H28年確定値]（全国第39位/前年40位）
- ・国別の動向：（韓国）鳥取県中部地震の影響により、対前年▲7,700人、▲18.1%
（香港）定期便就航により、対前年+4,830人、+45.3%増加

(1)平成28年の観光入込客数

- ・観光入込客数（実人数）は、10,127千人（対前年▲313千人、▲3.0%）
- ・温泉地入湯客数は、1,104千人（対前年▲16千人、▲1.5%）

(2)宿泊者数（実人数/外国人含む）（観光庁宿泊旅行統計の確定値）：2,438千人（前年比▲28千人、▲1.1%）

- ・鳥取県中部地震発生前まで（平成28年1月～9月まで）は+48千人（+2.6%）増加していたが、地震の影響により対前年で微減となった。

（参考：中部地震前後の宿泊者数（実人数）の推移）

8月	9月	10月	11月	12月
304千人 +12千人(+4.1%)	206千人 +3千人(+1.5%)	194千人 ▲36千人(▲15.7%)	199千人 ▲33千人(▲14.2%)	179千人 ▲7千人(▲3.8%)

(3)外国人宿泊者数（延べ人数/観光庁宿泊旅行統計の確定値）：100,320人（対前年▲3千人、▲3%）

鳥取県中部地震の影響は限定的であり、大きな減少には至らなかった。

2 今後の誘客の取組

(1)誘客を掘り起こすための取組

- ・中部地震の観光風評被害対策として実施した旅行商品に対する割引特典の付与やバス代支援により、本県の観光入込のうち主要なエリアである近畿からの入込客の減少幅を他地域に比べて抑えることができた。
- ・一方、比較的に入込減少が大きい中国地方の一層の誘客を掘り起こすため、秋以降も旅行商品が継続的に造成されるよう、旅館・ホテル、観光施設など関係者からの意見をお聞きしながら、必要な支援について検討する。

(2)新たな観光素材等を中心にした取組（宿泊増や滞在時間延長・周遊性の向上）

○星取県

- ・今年4月から星空の美しい県「星取県」として打ち出したところ、関西の旅行会社で鳥取の星空鑑賞ツアーが造成・販売されており、9月に催行予定。今後、モニターツアーの実施も予定しており、雨天時の対策等を検討しつつ、旅行会社においてさらに商品が造成されるよう取り組んでいく。
- ・星空の美しさをPRし、宿泊客増につなげるため、星空MAP作成にも取り組む。

○山陰デスティネーションキャンペーンのプレキャンペーン

平成30年に本番を迎える山陰デスティネーションキャンペーン（山陰DC）のプレキャンペーン（H29.7.1～H29.9.30）において同キャンペーン特別プランを造成・販売するとともに、山陰DC本番以降も当該プランの継続販売等により、中長期的な誘客に取り組む。

（特別プランの例）

- 【鳥取砂丘 砂の美術館】開館前の特別鑑賞ツアー（開館前に20名限定で贅沢に貸切鑑賞）
- 【倉吉白壁土蔵群】小粋に浴衣でまち歩き（美容師による着付けとヘアアレンジ+夏季限定浴衣で散策）
- 【JR西日本後藤総合車両所】扇形車庫等の車両所見学（鉄道ファンから観光客まで幅広く楽しめる）
- 【大山夏祭り】お盆の大献灯（大神山神社奥宮に続く石畳参道の幻想・神秘的な「和傘の灯り」）
- 【水木しげるロード】世界妖怪会議（ロードリニューアル前に50体以上の妖怪ブロンズ像を特別展示）

3 各調査結果

(1) 観光入込客数

- ・観光入込客数(延人数)：19,364千人(対前年74千人、+0.5%)
- ・観光入込客数(実人数)：10,127千人(対前年▲313千人、▲3%)

(2) 宿泊者数、温泉地入湯客数

- ・宿泊者数は、前年に比べ28千人減少(▲1.1%)し、2,438千人となった。
- ・温泉地入湯客数は、全体として約17千人減(▲1.5%)

(3) 地域ごとの傾向

- ・浦富海岸、岩井温泉周辺(対前年+133千人(+40.9%)、八頭(対前年+69千人(+23.7%))が増加
- ・とっとり梨の花温泉郷周辺、米子・皆生温泉周辺、境港周辺、大山周辺が減少

(4) 外国人宿泊者数(宿泊旅行統計調査(観光庁実施の全国統一基準調査による))

- ・外国人宿泊者数：100,320人(対前年▲3千人(▲3%))
- ・国籍別：

韓国	台湾	香港	中国
35,080人 (対前年▲7,770人)	13,280人 (対前年▲4,290人)	15,500人 (対前年+4,830人)	10,890人 (対前年+2,650人)

(5) 観光消費額(全国入込客統計に関する共通基準(観光庁実施の全国統一基準調査による))

- ・観光消費額：64,164百万円(対前年▲4,382百万円(▲6.6%))

4 各種データ

(1) 県外県内別観光入込客数(延べ人数)

(単位：千人、%)

区分	観光入込客数		対前年比		平成28年 構成比
	平成28年	平成27年	増減	割合	
県外観光客	14,252	14,178	74	100.5	73.6
県内観光客	5,112	5,112	0	0	26.4
合計	19,364	19,290	74	100.5	100.0

(2) 県外県内別観光入込客数(実人数)

(単位：千人、%)

区分	観光入込客数		対前年比		平成28年 構成比
	平成28年	平成27年	増減	割合	
県外観光客	6,449	6,625	▲176	97.3	63.7
県内観光客	3,678	3,815	▲137	96.4	36.3
合計	10,127	10,440	▲313	97.0	100.0

(3) 地域別観光入込客数(実人数)

(単位：千人、%)

広域エリア名	観光入込客数(千人)		対前年比	
	平成28年	平成27年	増減	割合
鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺	2,877	3,010	▲133	95.6
浦富海岸・岩井温泉周辺	458	325	133	140.9
八頭	360	291	69	123.7
とっとり梨の花温泉郷周辺	1,349	1,473	▲124	91.6
東伯耆周辺	616	698	▲82	88.3
米子・皆生温泉周辺	1,230	1,298	▲68	94.8
境港周辺	1,732	1,755	▲23	98.7
大山周辺	1,317	1,378	▲61	95.6
奥日野周辺	188	212	▲24	88.7
合計	10,127	10,440	▲313	97.0

(4) 月別観光入込客数 (実人数)

(単位:千人、%)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成28年	672	521	732	782	1,078	625	920	1,630	815	887	781	684	10,127
平成27年	589	521	711	712	1,104	695	1,023	1,499	976	959	900	751	10,440
増減	83	0	21	70	▲26	▲70	▲103	131	▲161	▲72	▲119	▲67	▲313
割合	114.1	100.0	103.0	109.8	97.6	89.9	89.9	108.7	83.5	92.5	86.8	91.1	97.0

(5) 月別宿泊者数 (実人数)

(単位:千人、%)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成28年	171	179	223	188	207	171	217	304	206	194	199	179	2,438
平成27年	184	179	222	168	213	171	186	292	203	230	232	186	2,466
増減	▲13	0	1	20	▲6	0	31	12	3	▲36	▲33	▲7	▲28
割合	92.9	100.0	100.5	111.9	97.2	100.0	116.7	104.1	101.5	84.3	85.8	96.2	98.9

※出典:「宿泊旅行統計調査」(観光庁)

(6) 発地別観光入込客数 (実人数)

(単位:千人、%)

地域名	平成28年	平成27年	27→28 増減	(参考) 26→27 増減	平成28年 構成比
北海道・東北	36	46	▲10	1	0.40
関東	507	533	▲26	2	5.00
中部	281	323	▲42	10	2.80
近畿	2,790	2,800	▲10	▲57	27.50
中国	2,346	2,422	▲76	116	23.10
四国	351	341	10	▲48	3.50
九州・沖縄	138	160	▲22	6	1.40
県内	3,678	3,815	▲137	326	36.30
合計	10,127	10,440	▲313	356	100.0

(7) 利用交通機関別観光入込客数 (実人数)

(単位:千人)

交通機関	平成28年		平成27年		増減	
	県外客	県内客	県外客	県内客	県外客	県内客
貸切バス	506	41	658	53	▲152	▲12
路線バス	364	77	317	60	47	17
列車	558	46	541	43	17	3
飛行機	250	-	234	-	48	-
自家用車	4,346	3,282	4,450	3,408	▲105	▲1,216
タクシー	49	77	69	6	▲20	71
その他	376	155	356	245	270	▲90
小計	6,449	3,678	6,625	3,815	105	▲1,227
合計	10,127		11,249		▲1,122	

(8) 温泉地入湯客数

(単位：人、%)

温泉地名	入湯客数		対前年比		平成28年 構成比
	平成28年	平成27年	増減	割合	
鳥取温泉	78,872	76,260	2,612	103.4	7.1
吉岡温泉	25,250	25,731	▲481	98.1	2.3
岩井温泉	13,464	15,966	▲2,502	84.3	1.2
浜村温泉	13,789	9,320	4,469	148	1.2
鹿野温泉	15,618	16,740	▲1,122	93.3	1.4
はわい温泉	121,741	130,787	▲9,046	93.1	11
東郷温泉	28,507	30,404	▲1,897	93.8	2.6
三朝温泉	365,776	386,331	▲20,555	94.7	33.1
関金温泉	23,855	22,347	1,508	106.7	2.2
皆生温泉	417,380	407,316	10,064	102.5	37.8
合計	1,104,252	1,121,202	▲16,950	98.5	100

※入湯税から算出

(9) 外国人延べ宿泊者客数 (出典：観光庁宿泊旅行統計調査(確定値))

・外国人延べ宿泊者数(宿泊施設従業者数10人未満の施設を含む。) (単位：人)

年度	平成28年	平成27年	増減	対前年比(%)
人数	100,320	103,430	▲3,110	97.0%

・国籍別外国人宿泊者数(確定値)(宿泊施設従業者数10人以上の施設のみ)

(単位：人)

国籍	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19
韓国	35,080	42,850	20,620	16,580	14,450	13,460	14,920	6,340	7,020	4,580
中国	10,890	8,240	3,140	2,470	2,700	2,520	1,370	1,120	1,240	1,240
香港	15,500	10,670	3,660	3,560	1,940	560	430	110	120	320
台湾	13,280	17,570	10,570	7,030	8,390	2,820	1,990	2,040	1,360	3,580
タイ	2,190	1,940	710	210	120	510	100	30	70	0
アメリカ	1,920	2,660	3,170	2,030	1,410	1,020	960	1,100	1,000	1,110
ドイツ	810	1,210	600	170	200	210	190	240	270	1,020
フランス	780	380	290	200	180	140	130	150	140	200
シンガポール	770	370	430	130	90	40	110	10	90	10
ロシア	610	470	820	210	760	520	630	—	—	—
マレーシア	540	740	160	280	370	80	110	—	—	—
カナダ	510	520	190	100	70	80	40	160	170	60
イギリス	460	450	250	180	60	110	50	150	130	90
オーストラリア	460	300	490	260	190	200	60	90	310	50
ベトナム	210	80	140	10	—	—	—	—	—	—
合計	89,810	91,640	48,470	36,910	33,450	25,160	23,060	14,020	14,890	15,300

※200人未満の国・地域及び国籍不明の宿泊者数については掲載を省略しているため、各国・地域の足し上げと合計は一致しない。

(10) 観光消費額 (出典：全国入込客統計に関する共通基準(観光庁実施の全国統一基準調査))

年度	観光消費額(百万円)				合計
	県内		県外		
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	
平成28年	5,871	3,767	28,400	26,126	64,164
平成27年	7,116	5,041	30,966	25,423	68,546
差引	▲1,245	▲1,274	▲2,566	703	▲4,382

日本ジオパーク再認定に係る現地審査について

平成29年7月21日
山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館
観光戦略課

山陰海岸ジオパークは日本ジオパーク及び世界ジオパークの認定を受けており、原則4年ごとに再認定を受ける必要がある。この度、7月31日から8月2日にかけて、日本ジオパーク委員会（JGC）による日本ジオパーク再認定に係る現地審査が行われるので、その概要を報告する。

<これまでの経過>

- H20.12 日本ジオパークネットワークの加盟認定
- H22.10 世界ジオパークネットワークの加盟認定
- H25.12 日本ジオパークネットワークの再認定及び鳥取市青谷町・鹿野町エリアへの拡大
- H26.9 世界ジオパークネットワークの再認定及び鳥取市青谷町・鹿野町エリアへの拡大
- H27.9 アジア太平洋ジオパークネットワーク in 山陰海岸の開催
- H27.11 世界ジオパークのユネスコ正式事業認定

1 全体日程

- 7月31日（月）：山陰海岸ジオパーク推進協議会による全体概要説明、鳥取県内審査
- 8月1日（火）：兵庫県内審査、京都府内審査
- 8月2日（水）：京都府内審査、兵庫県内審査、記者発表
- 9月中 … JGC認定会議において可否決定について協議
- 9月下旬…審査結果報告書が発出される予定

2 審査員

- 中田 節也 氏 JGC副委員長、東京大学地震研究所教授
- 橋詰 潤 氏 明治大学黒曜石研究センター博士
- 和田 庫治 氏 室戸ジオパーク推進協議会事務局長

3 主な審査内容（推測）

- ・前回再認定（H25.12）の際に拡大したエリア（鳥取市青谷町・鹿野町エリア）の取組について
- ・前回再認定以降の新たな取組など

4 現地審査候補地における説明内容等

上記3の審査内容に加えて、前回審査時のコメント（①拠点施設や野外説明板・案内板を魅力的に。②旅行者にわかりやすいジオツーリズムの提示。③既存エリアと拡大エリアを結ぶ見学コースの設定。④拡大エリアの野外説明板やパンフレット整備。⑤拡大エリアのガイドレベルの向上。）への対応状況について説明することとしている。

現地審査候補地	説明内容
鳥取市青谷支所	山陰海岸ジオパーク推進協議会による全体概要説明
あおや郷土館	あおや郷土館館長による拡大エリアでの活動について説明
青谷上寺地遺跡展示館	青谷上寺地遺跡展示館館長による展示とジオパーク活動での活用について説明
夏泊	鳥取市職員による案内看板等の確認・説明
湖山池・湖山池情報プラザ	鳥取市職員によるアダプトプログラム、ガイドによる活動内容の説明
アルマーレ（岩美町東浜）	各活動者によるアクティビティ・ロングトレイル・ガイド活動の説明、環境省浦富自然保護観察官による保全活動の説明
山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館・渚交流館	山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館職員による体制強化、新たな展示、施設拡張等の説明

(参考) 前回審査における日本ジオパーク委員会のコメント

(1) 再認定審査結果

ジオサイトの保全、ジオパーク内の学術研究支援が進展しており、ジオパークとして一体となった運営ができつつある。ジオパーク内のガイド制度の整備が進んでおり、ガイドのレベルアップが可能な体制となってきた。これらの活動をベースに、ジオパークへの旅行者が増えてきており、ジオパークを利用したビジネスが創出され、Iターン、Uターンの移住者が現れている。今後上記活動をさらに進めるとともに、地域住民同士のネットワークをさらに強化し、拠点施設や野外説明板・案内板をより魅力的なものとし、見学モデルプランの提案などを通じて旅行者にわかりやすいジオツーリズムを提示して欲しい。

(2) 拡大審査結果

申請のあったエリア拡大は、本ジオパークのテーマを補強し内容を豊かにするものである。拡大エリアには湧水を利用した生活文化、活断層地形と鳥取地震の災害遺構、鳥取砂丘から連続する砂丘地形がある。すでにガイドの活動や新たなガイドの養成も行われており、拠点施設の整備計画もある。以上のようなことからエリア拡大を認める。また、拡大地域を含めて世界ジオパークへの申請を認める。今後既存エリアと拡大エリアを結ぶ見学コースの設定とそれに伴う野外説明板やパンフレットの整備、ガイドのレベル向上等を期待する。

キティラ・ハイキング・プロジェクト（ギリシャ）訪問による成果について

平成29年7月21日

山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館

観光戦略課

山陰海岸ジオパークトレイル協議会によるキティラ・ハイキング・プロジェクト（ギリシャ）訪問の成果について、報告する。

1 訪問の趣旨

キティラ・ハイキング・プロジェクト（代表：フィボス・ツサラヴォポロス氏）は、ギリシャの古いトレイルを再生し、世界上位10位以内のハイキングスポットに入ることを目標に事業を展開し、①品質の高いトレイル環境の提供 ②地元経済の活性化 ③地元特産品の販売 ④地元の人と観光客との交流を推進している。また、来訪者獲得のため、カナダのブルース・トレイルとの提携など、海外への情報発信を積極的に行っているトレイル団体である。

昨年、山陰海岸ジオパークと類似しているトレイルとして、連携して情報発信を行っていただくこと等を内容とする友好協定を締結したところであるが、情報発信の一環として行われたキティラ島での友好セレモニーに出席すること及び今後の連携した情報発信のあり方について協議するため、ギリシャを訪問した。

※ギリシャは、人口約1,000万人に対し、外国人観光客は年間約2,700万人という観光立国である。その中で、キティラ・ハイキング・プロジェクトは、『トレイル』を切り口に新たな顧客を開拓しようとしている。

※キティラ島は、島民3,500人に対し、年間観光客が約70,000人（年々増加傾向）あり、ギリシャ国内のほか、フランス、イタリア、オーストリア、オランダなど、ヨーロッパ各地からの観光客が多い。アジア、米国からの観光客もある。

※ヨーロッパや米国からの観光客は長期滞在するケースが多く、トレイルは重要な誘客ツールの一つとなっている。トレイル以外のアクティビティとして、ダイビング、釣り、セーリング、クライミングなどがあり、今後はヨガ、アグリツーリズム、地形・地質探訪（ジオパーク的）などにも力を入れる予定である。

2 訪問による成果

トレイルを手段とした観光客誘致に向けて、トレイルルートの整備、トレイルイベントの開催、周辺環境整備など、目的や手法、課題等に共通点多々あることを確認し、次の項目について、連携して取り組むこととした。

<情報交流>

- お互いのトレイルについて、ホームページやSNSで情報発信を行う。
- 昨年と今回の訪問時に相互に持参したパンフレット等を有効活用する。
- 今後も新たな提案等があれば、メール等を活用し意見交換を行う。
- 国際大会に出席した場合など機会をとらえてお互いのトレイルを紹介する。
(※直近では、キティラ・ハイキング・プロジェクトのフィボス代表が出席するドイツのトレイル国際大会で、山陰海岸ジオパークトレイルのパンフレットやビデオを紹介していただくこととなった。)

<人的交流>

- 今回の訪問で、トレイルコースのガイドをしていただいた、キティラ・ハイキング・プロジェクトに所属のリガス氏が、9月に県内で開催の「次世代トレイルリーダー養成・情報発信事業」に参加される。

(参考) 訪問の概要

(1) 訪問期間

6月26日(月)から6月28日(水)

(2) 訪問者

山陰海岸ジオパークトレイル協議会 森下哲也会長ほか4名

(3) 友好セレモニー

キティラ市役所前のメイン広場において、キティラ市長、キティラ文化開発財団会長、森下哲也会長の挨拶の後、友好協定締結記念パネルの除幕等を行った。

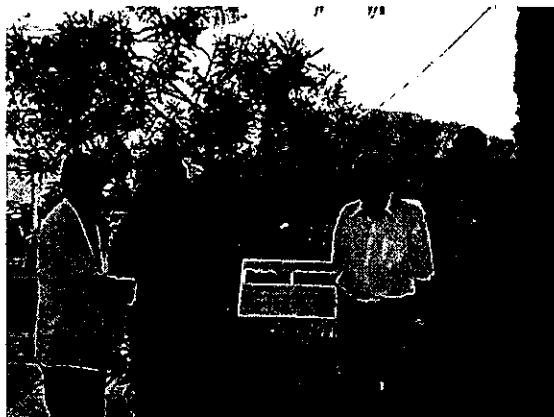
(4) 友好協定コースの認定

海岸線に面しているなどよく似た「M1コース」が「山陰海岸ジオパークトレイル友好協定コース」に認定された。今後、道標に山陰海岸ジオパークトレイルで使用している道標を設置していただくこととなり、永続的なPR効果が期待できる。

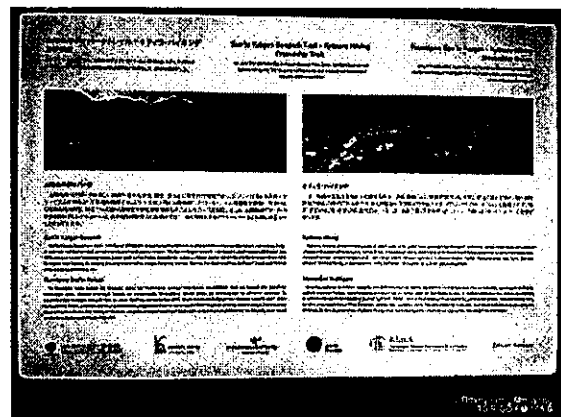
(M1コース：キティラ市役所近郊→小泉八雲の母親の生家前→海沿いルート 約3Km)

(5) パンフレット、PR用動画について

この度持参した山陰海岸ジオパーク及び山陰海岸ジオパークトレイルのパンフレット(英語版)等は、市民、観光客に手に取ってもらえるよう、市役所の観光コーナーに配置するほか、キティラ・ハイキングのイベント等で配布することとなった。



左から森下会長、チャチャラキス市長
カシマティス会長、フィボス代表



記念パネルは日本語、英語、ギリシャ語で
両トレイルの説明が記されている。

鳥取空港開港50周年記念式典について

平成29年7月21日

空港港湾課

観光戦略課

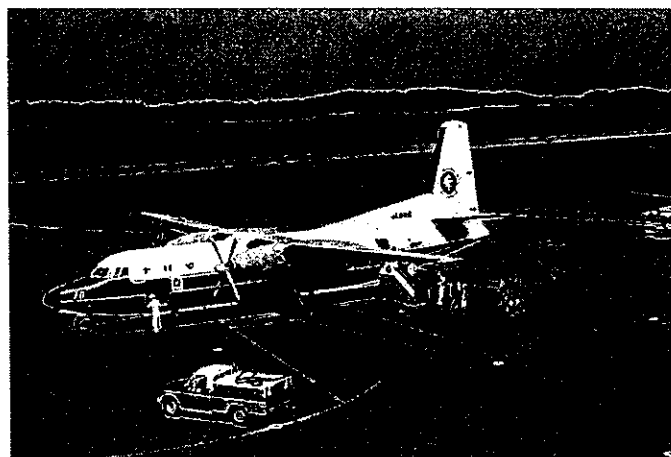
- 昭和42年7月31日に鳥取空港が県営空港として開港して以来50周年の節目を迎えることから、これを記念して下記のとおり7月30日(日)に「50周年記念式典」を開催します。
- 併せて、平成30年7月のターミナルビル一体化グランドオープンに向け、50周年記念式典をグランドオープンに向けた「キックオフイベント」と位置付け、関係機関との連携のもと、空港を身近に感じてもらえる記念イベントを実施します。これらにより広く県民の皆さんに鳥取空港(空の駅)(ツインポート)の取り組みをPRし、「空の駅」化を推進します。

記

- 日時 平成29年7月30日(日) 11:20~12:20
- 場所 国際会館センタープラザ
- 主催 鳥取県及び鳥取空港の利用を促進する懇話会の共催
- 出席者 約200名(国機関、国会議員、県議会議員、地元自治会、航空会社、空港ビル関係者、経済及び観光団体、懇話会等)
- 式典内容
 - ・オープニング(鳥大フィルハーモニーによる演奏:約5分)
 - ・主催者あいさつ、来賓あいさつ
 - ・くず玉割り
 - ・祝電披露
 - ・空港のあゆみと現状報告
 - ・感謝状贈呈(地元自治会へ贈呈)
 - ・ターミナルビル一体化工事模型お披露目 ※生まれ変わった空港の姿(模型のお披露目)
- その他 式典当日は以下の50周年記念イベントを併催
 - (1) 東京利用者への記念品配布(場所:国内線ターミナルビル) 10:55~11:10
 - ・配布者 懇話会県、観光大使、コナン君から記念品を配布。
 - ・記念品 ノベルティノート、せんべい、コナンボールペンなど
 - (2) 演奏会(場所:国際会館センタープラザ) 12:30~13:10
 - ・内容 鳥大フィルハーモニー(40名)による演奏会の開催
 - (3) 空港見学(場所:滑走路・エプロン他) 13:00~14:30
 - ・参加者 事前申込80名
 - ・内容 貸切バスによる空港見学(滑走路、化学消防車など)、タッチダウンを見よう!(予定)
 - (4) 親子航空教室(場所:出国待合室、滑走路他) 13:15~16:00
 - ・参加者 応募による40組80名の親子
 - ・内容 小中学生の親子を対象にしたパイロットとCAのお話を聞く会、空港見学(滑走路、化学消防車など)

(参考:鳥取空港の主なあゆみ)

昭和42年7月	県営鳥取空港の供用開始(滑走路1,200m)
8月	東京便運航開始 (米子-東京便下り便のみ鳥取寄港)
昭和60年7月	滑走路1,800mに延長 ジェット機東京便に就航
平成2年7月	滑走路2,000mに延長 国際チャーター便初就航(北京へ)
平成8年4月	鳥取空港国際会館開館
平成18年1月	東京便ナイトステイ開始(早朝便運航開始)
平成26年3月	東京便増便(1日5往復)
平成27年3月	「鳥取砂丘コナン空港」愛称化スタート
平成29年6月	東京利用者900万人達成



開港当時の飛行機(フォッカーF27 40人乗り)

新規市場（フィリピン、ベトナム）における誘客の取組状況について

平成29年7月21日
観光戦略課

平成29年度当初予算において「伸びるASEAN新規市場からの誘客事業」として、訪日観光客が急増しているフィリピン、ベトナムからの観光客誘致を新規事業化しています。

両市場における現在の誘客の取組状況について、以下のとおり報告します。

フィリピン

このたび、フィリピン・マニラ市において本県として初めて旅行博に出展するなど、観光客誘致活動を開始しました。現地では、鳥取県を訪問するツアーが初めて販売開始されました。

1 フィリピン旅行博「Travel Madness Expo 2017」出展結果

- (1) 開催期日 7月6日(木)～9日(日)
- (2) 場 所 マニラ市内 SMXコンベンションセンター
- (3) 来 場 者 旅行関係者及び一般(最終来場者数は集計中だが、約7万人が来場見込)
- (4) 出展内容 日本政府観光局(JNTO)ブース内に出展し、秋冬の観光地や蟹・和牛等のグルメ、名探偵コナン等の観光・食情報を英語パンフレットを使って紹介した。

〔来場者の声〕

- ・東京、大阪、名古屋には行ったことがある。10月に行く場所を探している。鳥取砂丘は美しい。鳥取和牛を食べてみたい。梨狩りをやりたい。梨が食べ放題で1,000円は安い。
- ・日本には4回行った。大阪、東京は食べ物が高い。鳥取の蟹や新鮮な刺身、寿司が食べたい。(フィリピンでは生魚を食べない)

- (5) 日本からの出展者 和歌山県、岐阜県、JR西日本、ドンキホーテ、ホテルチェーン他

2 鳥取訪問旅行商品内容

- (1) アティックツアーズ 『JAPAN NEW GOLDEN ROUTE』 時期：10月27日～31日 USD1,635～
ニノイアキノ空港～福岡国際空港イン、関西国際空港アウト
〔4泊5日：うち米子市内1泊、青山剛昌ふるさと館・鳥取砂丘・砂の美術館を訪問〕
- (2) UNIVERSAL HOLIDAYS 『7DAYS ADVENTURE in JAPAN』 時期：10月29日～11月4日 USD2,298
ニノイアキノ空港～成田国際空港イン、成田国際空港アウト
〔6泊7日：うち三朝町内1泊、青山剛昌ふるさと館・鳥取砂丘・浦富海岸・花回廊を訪問〕
- (3) JTBマニラ支店 『EXQUISITE WESTERN JAPAN』 時期：9月9日～15日 USD1,987～
ニノイアキノ空港～関西国際空港イン、関西国際空港アウト
〔6泊7日：うち鳥取市内1泊、青山剛昌ふるさと館・鳥取砂丘・砂の美術館を訪問〕

3 現地旅行会社・団体への訪問

- (1) 現地旅行会社との商談会
7月5日、現地の大手旅行会社が主催する旅行販売店との商談会に参加し、鳥取県への送客を働きかけた。「東京、大阪、名古屋の次の行先を探している。砂丘、和牛、フルーツ狩り、カニに魅力がある。鳥取に行く商品を作りたい。」という声が多く聞かれた。
- (2) 旅行会社・団体への宣伝活動
旅行会社エイチ・アイ・エスの現地法人を訪問し、旅行商品造成の働きかけを行った。
また、船員派遣会社等を訪問し、社員及び家族による訪日旅行の実施を提案したところ、秋に開催する社員向け催事において観光情報説明を行ってほしいとの要請があった。

4 今後の予定

- インターネットによる情報発信の強化
- 旅行会社による鳥取県観光地視察の実施
- 現地旅行会社と連携したツアー販売の促進(商談会・旅行博への参加)

ベトナム

ベトナムにおいても、現地の旅行会社と連携して初めて訪日情報発信イベントに出展するとともに、観光戦略課内にベトナム旅行社スタッフを受け入れて情報発信を強化するなど、11月に運航される初のベトナム相互チャーター便に向けた取組を進めています。

1 訪日情報発信イベント「Feel JAPAN in Vietnam 2017」出展結果

- (1) 開催期日 7月15日(土)、16日(日)
- (2) 場 所 ホーチミン市内 GEM CENTER
- (3) 来 場 者 一般客3万人/2日間(主催者推定)
- (4) 主 催 エイチ・アイ・エス・ソンハン・ベトナム・ツーリスト
- (5) 内 容 日本の「旅行」、「文化」、「食」、「製品」、「サービス」のあらゆる魅力を一度に体験できるイベント。ベトナム語リーフレット等による鳥取県の紹介、ステージでの鳥取県の魅力紹介、コナン、鬼太郎を使ったPR・写真撮影会等を行った。
- (6) 旅行販売 今回のイベント中に、チャーター便の旅行商品に加え、次の商品も販売。
[旅行期間] 8月23日(水)～27日(日)(関西国際空港インアウト)
うち鳥取県には24日(木)夜～26日(土)に滞在

2 ベトナム旅行社からのスタッフ受入れ開始

- (1) 氏 名 TON THI LE UYEN (トン・ティ・レエ・ウエン)(女性)
- (2) 受入期間 7月18日(火)～9月13日(水)
- (3) 派遣元 Ho Chi Minh City Branch- Song Han Trading and Tourist Co., Ltd
「ソンハン・トレーディングアンドツーリストホーチミン支店」
(大手旅行会社 エイチ・アイ・エスのベトナム現地法人)
- (4) 県で行う主な業務
 - ① 11月のチャーター便実施に向けた準備(鳥取県観光マップのベトナム語訳、お勧め観光ルート・写真スポット集・お勧めお土産ブックの作成など)
 - ② インターネットでの情報発信(ベトナムに向けてベトナム語での情報発信)
 - ③ 今後の鳥取県旅行商品の造成に向けた業務(ベトナム人に好まれる観光スポットの検証等)

3 ベトナム・ハノイ・米子チャーター便の準備状況

チャーター便の運航概要は次のとおりです。航空会社から国土交通省へ許可申請され、国土交通大臣の許可をもって確定となります。ベトナムとの相互チャーターは初めての運航となります。(平成22年に米子鬼太郎空港からホーチミンへ日本人専用チャーターの運航実績あり。)

- (1) 運航日時 平成29年11月8日(水)・11月12日(日)(2往復・4便)
 - ・ 11月 8日(水) 8時ハノイ発-14時米子着/15時米子発-18時30分ハノイ着
 - ・ 11月12日(日) 10時ハノイ発-16時米子着/17時米子発-20時30分ハノイ着
- (2) 就航空港 ノイバイ国際空港(ハノイ)×米子鬼太郎空港
- (3) 主 催 ベトナム側: エイチ・アイ・エス・ソンハン・ベトナム・ツーリスト
鳥取県側: 株式会社農協観光鳥取支店
- (4) 航空会社 ベトジェットエア(格安航空会社)
- (5) 使用機材 A320(175席)

4 今後の予定

- 現地旅行会社を対象とした鳥取県観光情報説明会
- 秋冬ツアー造成を目的とした旅行会社行による鳥取県観光地視察の実施
- 現地旅行会社と連携したツアー販売の促進(販促イベント、旅行博への参加)

2017年東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF)常任委員会の開催について

2017年7月21日
観光戦略課

東アジア10地域の知事・観光行政、観光業界、大学等の産官学が集い、相互理解を深め、域内交流を推進するとともに、協力して世界各地からの観光客誘致を図ることを目的に、2000年に設立された「東アジア地方政府観光フォーラム(通称:EATOF(イートフ))」。

この事務レベルの会合である常任委員会(2年に1度開催)が8月に鳥取県で開催されます。今回の常任委員会では、2018年に鳥取県で開催する「EATOF総会」の内容や地域間交流の推進状況などについて意見交換を行います。

1 全体スケジュール

- (1) 時期: 2017年8月8日(火)～11日(金)
- (2) 会場: 米子全日空ホテル
- (3) 日程: 公式行事は8月9日(水)、10日(木)の2日間(前後2日間は移動日)

月日	曜日	時間	内容
8/8	火		参加国移動日 米子市泊
8/9	水	9:00～12:00	常任委員会
		12:00～14:00	昼食
		14:00～18:00	常任委員会
		19:00～21:00	歓迎レセプション 米子市泊
8/10	木	8:00～18:00	視察ツアー(とっとり花回廊→大山寺→砂美術館・鳥取砂丘等) はわい温泉泊
8/11	金		参加国移動日

2 参加者

EATOF加盟地域(10カ国10地域)の自治体観光担当部局長級の幹部

鳥取県(日本)、江原道(韓国)、吉林省(中国)、中央県(モンゴル)、ジョグジャカルタ特別州(インドネシア)、セブ州(フィリピン)、サラワク州(マレーシア)、クアンニン省(ベトナム)、シエムリアップ州(カンボジア)、ルアンパバン州(ラオス)

3 常任委員会の概要

- (1) 時期: 8月9日(水) 9:00～12:00 14:00～18:00
- (2) 会場: 米子全日空ホテル
- (3) 概要

- ・議長: 親交交流局長
- ・議題: 2018年に開催するEATOF総会の内容、スケジュールについての意見交換
加盟各地域で行われている地域間交流についての報告等

4 歓迎レセプション

- (1) 時期: 2017年8月9日(水) 19:00～21:00
- (2) 会場: 米子全日空ホテル

<参考> これまでの開催状況

EATOF総会は、各参加地方政府が持ち回りで開催することになっており、本県は平成16年に一度開催している。

平成28年10月にインドネシアのジョグジャカルタ特別州で開催された総会において、次回の鳥取県での開催が承認され、平成30年の本県2度目の開催が決定した。

全米知事会の参加及び米国バーモント州フィル・スコット知事との交流協議について

平成29年7月21日
交流推進課

平井知事が、米国ロードアイランド州プロビデンス市で行われた全米知事会に参加するとともに、米国バーモント州フィル・スコット知事と面談し、両地域で行われている友好交流について意見を交わしましたので、下記のとおり報告します。

記

1 全米知事会に出席

(1) 日 時 7月13日(木)～7月15日(土)

(2) 場 所 米国ロードアイランド州プロビデンス市コンベンションセンターほか

(3) その間において、13日午後3時30分より、日米両知事会間での協議を行った。

○日本側 平井伸治鳥取県知事、三日月太造滋賀県知事、田中博敏JETROニューヨーク所長

○米国側 テリー・マコーリフ会長(バージニア州知事)、ブライアン・サンドバル副会長(ネバダ州知事・次期会長)、スティーブ・ブロック次期副会長(モンタナ州知事)、ラリー・ホーガン(メリーランド州知事)

〔協議結果〕

1995年以来、全米知事会知事団の来日が途絶えているが、来年日本で日米知事フォーラムを開催することについて実現に向け協議する調整を行うことで一致した。

(4) その他

○マット・ベビン知事(ケンタッキー州)と、14日午前11時に会談し、高校生や経済面での交流等について意見交換を行った。

○その他、14日に行われた開会セレモニー、ペンシルバニア副大統領・カナダのトルドー首相などによる国際経済セッションなどに参加した。

2 米国バーモント州知事との交流協議

(1) 日 時 7月14日(金) 午前11時30分から午前12時(現地時間)

(2) 場 所 プロビデンス市オムニプロビデンスホテル

(3) 参加者

○鳥取県 平井知事ほか

○米国バーモント州 フィル・スコット知事、ジェームス・ダグラス元知事、ピーター・リンチGATW代表

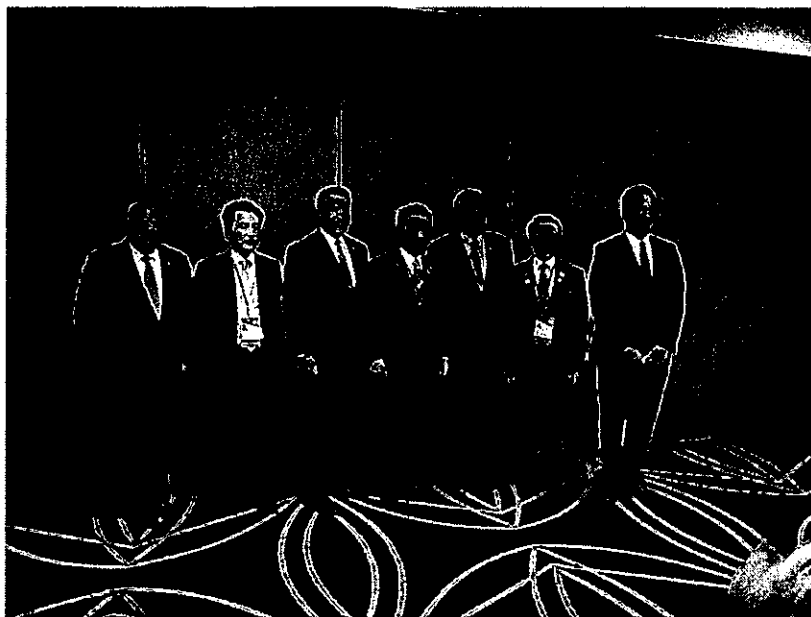
(4) 内 容

○平井知事よりバーモント州政府フィル・スコット知事に対し、両地域のこれまでの交流への理解と支援について感謝を述べ、覚書締結から10年を迎える記念すべき年(2018)に姉妹提携を締結することに向け今後両地域で協議を進めていくことを提案した。

○フィル・スコット知事より、相互の友好交流の発展を図ること、10周年の記念行事を行うことについて合意するとともに、姉妹提携締結に向けて検討を行う旨の向き発言があった。

<参考：訪問期間>

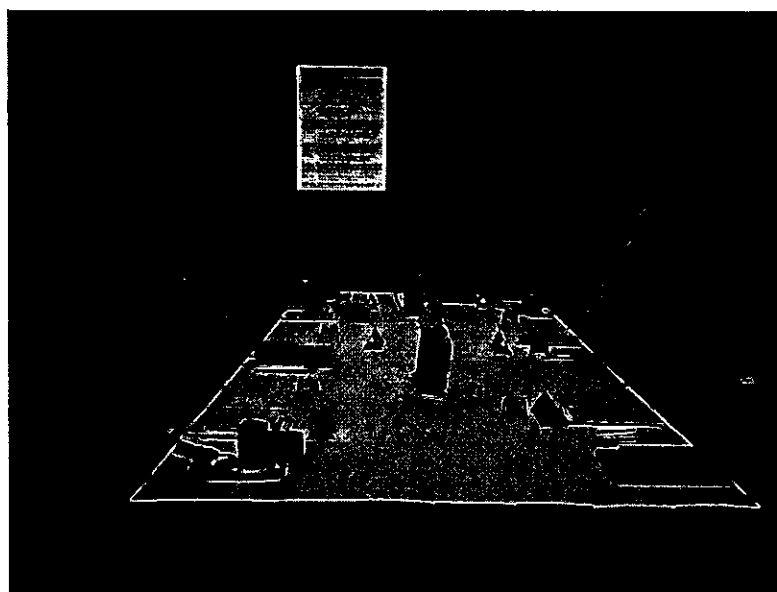
日にち	場所	内容
7月12日(水)	—	移動(→ロードアイランド州)
7月13日(木)	ロードアイランド州(プロビデンス)	全米知事会議
7月14日(金)	ロードアイランド州(プロビデンス)	全米知事会議
7月15日(土)	—	移動
7月16日(日)	—	移動



右から、ブロックモンタナ州知事、平井知事、マコーリフバージニア州知事、三日月滋賀県知事、サンドバルネバダ州知事、田中 JETRO ニューヨーク所長、ホーガンメリーランド州知事



右から、平井知事、バーモント州スコット知事、ダグラス元知事



バーモント州との交流協議の状況

平成 29 年 7 月 21 日

西部総合事務所地域振興局

伯耆国「大山開山 1300 年祭」に向けた圏域の魅力向上と機運醸成のため、今夏実施するプレ・イヤーイベント等について報告します。

1 伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーイベント

(1) 「私の好きな大山」写真コンテスト〔主催：伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会〕

四季折々の大山を題材にした写真作品を募り、広く全国に大山圏域の魅力を伝える。

(WEBに掲載する)

- ア 募集期間 7月3日(月)～翌年1月31日(水)
- イ 入賞作品 最優秀賞(1点)5万円、優秀賞(5点)1万円
- ウ 募集作品 四季折々の大山を題材として撮影した未発表作品で、写真を見て大山に行きたく
なるような魅力的な作品(次のいずれかに該当するもの)
(ア) 大山圏域で行われる自然、歴史、文化などの象徴的なイベント
(イ) 大山あるいは背景に大山を写したもの

(2) 「星取県」大山フェスティバル〔主催：伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会〕

本県が誇る美しい星空を県内外の方にPRし、3カ所での大山の魅力、満天の星空を堪能いただく。

会場	伯耆町	江府町	大山町
日時	7月22日(土)	8月27日(日)	9月17日(日)
場所	柗水高原スキー場周辺	休暇村奥大山	大山総合体育館周辺
内容	眼下に広がる大山山麓の夜景の美しい光と天空の満点の星空を堪能することを図る。 ・移動式プラネタリウム(7回上映) ・星空観測会 ※フェスティバル・デイア・マシマ(柗水の夏祭り)と同時開催	天然のブナ林と天然水が湧き出る大自然の中で、思わず手を伸ばせば届くような満天の星空を堪能することを図る。 ・星空観測会	星空を遮る街灯がなく、空気も澄み、静寂に包まれる神秘的な星空を堪能することを図る。 ・移動式プラネタリウム(7回上映) ・星空トークショー(星取県スター大使篠原ともえさん出演) ・星空観測会

(3) 日本はじまりの地 謎解き宝探し in 大山〔主催：伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会〕

宝探し体験ゲームの開催により、夏休み期間中に子供、家族連れを含む多くの観光客に訪れていただき、大山の歴史・文化・自然に親しんでいただきながら、周遊促進を図る。

- ア 期間 7月29日(土)～9月3日(日)
- イ 場所 大山寺参道周辺
- ウ 概要 宝の地図を解読し、隠された宝箱を探す体験型ゲーム。クリアした方には抽選で豪華賞品をプレゼント。

(4) 大山講座〔主催：伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会／新日本海新聞社〕

大山の様々な魅力について地域住民を中心に、大山のことをより深く知ることのできる講座を開催(全5回)。

- ア 第1回
7月30日(日)、新日本海新聞社西部本社ふれあいホールにて開催。
演題①「続・ナナカマドの実は赤かった～私の大山史考」(講師 根平雄一郎氏)
演題②「松江城天守創建時の祈祷と大山寺」(講師 ト部吉博氏)
- イ 第2回以降
大山の自然をテーマとした児童対象の野外フィールドワークの講座、文学をテーマとした野外での散策の講座などを準備中。

(5) 伯耆国「大山開山 1300 年祭」記念名物料理等開発〔主催：伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会〕

大山圏域を訪れる観光客をもてなし、満足いただくため、「名物料理を作る会」、県西部の飲食店などが記念料理等を開発。

ア 伯耆国「大山開山 1300 年祭」記念名物料理

- ・名物料理を作る会へ委託、実施
- ・大山をイメージし、盛り付け、ネーミング、インパクトを工夫した料理を開発
- ・6月20日(火)、新たに同会に属する8店が8つの春夏料理を発表

例)「大山開山プレート 1300」(海王)、鳥取和牛大山ロール寿し(華水亭)、ふるさと宝箱弁当(味屋)など

イ 大山開山 1300 年祭食プロジェクト合同試食会

名物料理を作る会等 1300 年祭に向けた料理開発に取り組む団体、関係者が一堂に会し、春夏料理合同試食会を実施。

(ア) 日時 7月25日(火) 午後0時30分から午後2時まで

(イ) 場所 スマイルホテル米子 2階 味屋スマイルプラザ

(6) お盆の大献灯〔主催：大山夏祭り実行委員会〕

大山寺参道等を和傘や絵灯籠でライトアップ。

ア 日時 8月11日(金・祝)～15日(火) 午後7時30分～9時30分

※和傘灯りは8月11日(金・祝)～13日(日)

※8月14日・15日は灯籠灯り、法要行事が中心。和傘灯りは一部のみ

イ 場所 大山寺参道周辺

ウ 内容 いまや大山夏の風物詩となったお盆の大献灯。その美しさが話題を集め全国ネットのニュースなどで報道されるなど注目必至の事業に成長。一部有料区間あり。今年度は、新たに中門院谷園地の一部もライトアップ予定。

(7) クラシックコンサート「ギターとチェロの調べ」〔主催：大山夏祭り実行委員会〕

大山開山 1300 年祭の盛り上げと圏域の機運醸成を図るため実施するクラシックコンサート。

ア 日時 8月13日(日) 16時～

イ 場所 モンベル大山店2階

ウ 演奏者 河野智美(ギター)、村岡苑子(チェロ ※鳥取県出身)

エ 入場料 無料

オ 備考 事前申込必要(7月18日(火)〆切)。抽選でペア35組。

2 その他伯耆国「大山開山 1300 年祭」関連の動き

(1) 伯耆国「大山開山 1300 年祭」機運加速化支援補助金の2次募集

伯耆国「大山開山 1300 年祭」の情報発信、機運醸成を促進する取組や、大山圏域の魅力向上、担い手となる人材確保・育成に資する取組を実施する団体等を支援。

ア 支援内容 1事業 200千円(上限)

イ 採択予定事業数 10事業 ※1次募集分として15事業を採択済み。

ウ 募集予定期間 8月1日(火)～28日(月)

(2) 伯耆国「大山開山 1300 年祭」PRポスターデザイン決定

・大山の恵み、緑、星、水等をイメージし、ポスターデザインを決定。

・四季折々の大山の風景、伝統行事、星空等により大山の魅力を県外に向けて発信。

※8月上旬頃から各所で掲出・PR予定。

(3) 県外広報

「サントリー天然水CM」及び「1300年祭PR映像」の上映とチラシ等の配布、のぼり等でのPR

ア トットリンピック in 大阪鶴見(大阪府) 7月2日

イ 大阪ミナミ夏祭り&にぎわいスクエア(大阪府) 7月15日、16日

ウ ショッピングセンターモレラ岐阜(岐阜県) 7月23日(予定)

エ アンテナショップ(とっとり・おかもま新橋館) 7月31日～8月6日(予定)

特定非営利活動法人大山中海観光推進機構(「大山王国」)の検査(追加)結果について

平成29年7月21日

西部総合事務所

大山町と特定非営利活動法人大山中海観光推進機構との委託業務の不適切事務に関する特定非営利活動促進法に基づく追加の検査を実施しました。(第1回目の検査は本年1月13日に行い、その検査結果、指導等について1月及び2月に地域振興県土警察常任委員会に報告済み)

1月の検査時に同法人内に関係書類が不在(税務調査対象として税務署に一時提出)であった部分について以下のとおり確認しましたので報告します。

1 検査の概要

米子税務署の調査が終了した旨の同法人からの報告(7月7日付け)を受け、特定非営利活動促進法に基づく追加検査を実施。

(1) 日 時 平成29年7月10日(月)14:00~17:00、11日(火)13:30~15:30

(2) 場 所 法人事務所(米子市旗ヶ崎)等

(3) 受検者 法人理事長 石村隆男氏ほか1名

(4) 検査員 西部総合事務所地域振興局職員5名

(5) 検査項目

- ・元大山町職員の理事が管理していた同法人の会計帳簿に記載されていない収入及び支出額の確認。
- ・上記に対する米子税務署の調査結果、修正申告、納税の状況
- ・前回の検査結果に基づいて提出された改善方針(H29.1.31付)に対する確認

(6) 主な検査結果

- ・元大山町職員の理事が会計帳簿に記載せずに管理していた収入及び支出額について、税務調査内容の聞き取り・通帳・証憑書類により確認した。同法人からの報告書(H29.7.7付)と同額であった。
- ・税務調査の結果、支出を裏付ける書類等が存在していないものが収益としてみなされているが、使途としては受託事業において経費として全額支出したものであることを理事長及び理事に聞き取った。
- ・税務調査に基づく修正申告および納税については適切かつ速やかに行われていた。
- ・H29.1.31付の同法人からの改善方針に基づく改善事項(会費徴収、会議招集方法、議事録作成)は法人定款に則り適切に実施されていることを確認した。

2 検査後の対応

今回の検査結果は、下記の点において法人定款第42条及び特定非営利活動促進法第27条に抵触するものであることから、改善を行うよう平成29年7月19日付けで通知した。

- ・法人定款第42条：法人の事業計画及びこれに伴う収支予算については理事長が作成し、総会の決議を要すること。
- ・NPO法第27条：NPO法人の計算書類及び財産目録は、活動にかかる事業の実績及び財政状態に関する真実な内容を明瞭に表示したものとすること。

3 今後の見通し

法人は平成29年4月以降は新規の事業活動は行っておらず、近いうちに解散の意向。

【事案の経過】

- H28.11.1 特定非営利活動法人大山中海観光推進機構への委託偽装を指摘する新聞記事が掲載
- 11.4 大山町への監査請求
- 12.22 大山町監査委員監査報告
- 12.27 大山町長が(特非)大山中海観光推進機構への委託業務に「不適切事務」があったと発表
- " 所轄庁である西部総合事務所が任意で(特非)大山中海観光推進機構 理事長から状況を聞取
- H29.1.13 西部総合事務所による(特非)大山中海観光推進機構検査実施
- 1.17 (特非)大山中海観光推進機構へ検査結果の通知及び改善方針の報告指示(期限:1月31日)
- 1.31 (特非)大山中海観光推進機構より改善方針の報告
- 3.16 大山町とNPO法人との委託契約に関する調査特別委員会報告(大山町)
- 4.20 大山町住民監査請求監査結果の公表
- 7.7 (特非)大山中海観光推進機構より米子税務署の調査が終了した旨の報告
- 7.10 (特非)大山中海観光推進機構に対する大山町委託事業分について追加の確認検査の実施

